

2023年度事業報告

自 2023年4月 1日
至 2024年3月31日

I. 概況

1. 全体景況

政府発表によれば、2023年度（令和5年度）の我が国経済は、コロナ禍の3年間を乗り越え、改善しつつある。30年ぶりとなる高水準の賃上げや企業の高い投資意欲など、経済には前向きな動きが見られ、デフレから脱却し、経済の新たなステージに移行する千載一遇のチャンスを迎えている。

他方、賃金上昇は輸入価格の上昇を起点とする物価上昇に追いついていない。個人消費や設備投資は、依然として力強さを欠いている。これを放置すれば、再びデフレに戻るリスクがあり、また、潜在成長率が0%台の低い水準で推移しているという課題もある。

このため、政府はデフレ脱却のための一時的な措置として、国民の可処分所得を下支えするとともに、構造的賃上げに向けた供給力の強化を図るため「デフレ完全脱却のための総合経済対策」（令和5年11月2日閣議決定。以下「総合経済対策」という。）を策定した。その裏付けとなる令和5年度補正予算を迅速かつ着実に執行するなど、当面の経済財政運営に万全を期す。

こうした中、令和5年度の我が国経済については、実質国内総生産（実質GDP）成長率は1.6%程度、名目国内総生産（名目GDP）成長率は5.5%程度、消費者物価（総合）は3.0%程度の上昇率になると見込まれる。

（出典：令和6年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度、令和5年12月21日閣議了承）

2. 鑄造業界の動向

- (1) 鑄造業の2023年の生産金額（ダイカストを除く）は、1兆4,246億円で対前年比3.2%増、一方生産量は389万トンで同0.7%減となり、金額は前年に続いて増加したものの、生産量は減少となった。
- (2) 代表業種である銑鉄鑄物の生産金額は、8,553億円、同2.3%増と2年連続で8千億円を上回った。生産量は308万トン、同1.1%減となり、金額は前年に続いて増加したものの、生産量は再びの減少となった。鑄鋼は生産金額が1,054億円、同6.7%減、生産量が131千トン、同4.3%減と、金額、重量ともに減少した。
- (3) 非鉄金属鑄物（ダイカストを除く）は、銅合金鑄物の生産金額が995億円、同3.6%増と前年に続き増加、生産量は57千トン、同2.4%減となり、4年連続で6万トンを下回った。また、アルミニウム鑄物は2,995億円、同7.6%増、生産量は391千トン、同7.4%増と金額、重量ともに増加した。この結果、2023年の全生産金額（ダイカストを含む）に占める非鉄鑄物比率は、52.1%となり、8年連続して50%を超えている。

表1. 鋳造品の生産額推移

単位：億円、()：対前年比%

| 年 | 鋳鉄鋳物 | 鋳 鋼 | 銅合金 | アルミ鋳物 | 精密鋳造品 | ダイカスト |
|------|---------------|---------------|-------------|---------------|-------------|---------------|
| 2000 | 9,055 (102.1) | 1,377 (109.7) | 700 (99.5) | 2,888 (103.2) | 471 (117.4) | 4,655 (106.3) |
| 2005 | 9,130 (107.5) | 1,434 (117.2) | 823 (98.7) | 2,791 (107.3) | 463 (105.5) | 6,000 (108.9) |
| 2010 | 8,509 (125.7) | 1,367 (103.0) | 958 (114.1) | 2,631 (126.9) | 514 (118.4) | 5,765 (130.0) |
| 2014 | 8,385 (101.3) | 1,200 (93.2) | 952 (108.6) | 2,821 (103.8) | 565 (108.9) | 5,874 (103.3) |
| 2015 | 8,198 (97.8) | 1,183 (98.6) | 966 (101.5) | 2,850 (101.0) | 539 (95.4) | 5,848 (99.6) |
| 2016 | 7,489 (91.4) | 1,177 (99.5) | 894 (92.5) | 2,812 (98.7) | 483 (89.6) | 5,746 (98.3) |
| 2017 | 7,841 (104.7) | 1,331 (113.1) | 892 (99.7) | 2,968 (105.3) | 472 (97.7) | 6,103 (106.2) |
| 2018 | 8,268 (105.4) | 1,443 (108.4) | 948 (106.3) | 3,129 (105.4) | 489 (103.6) | 6,409 (105.0) |
| 2019 | 8,026 (97.1) | 1,352 (93.7) | 885 (93.4) | 2,968 (94.9) | 450 (92.0) | 6,235 (97.3) |
| 2020 | 6,010 (74.9) | 1,217 (90.0) | 712 (80.5) | 2,356 (79.4) | 461 (102.4) | 5,245 (84.1) |
| 2021 | 7,940 (132.1) | 1,096 (90.1) | 851 (119.5) | 2,616 (111.0) | 520 (112.8) | 6,068 (115.7) |
| 2022 | 8,361 (105.3) | 1,129 (103.0) | 961 (112.9) | 2,783 (106.4) | 570 (109.7) | 6,477 (106.8) |
| 2023 | 8,553 (102.3) | 1,054 (93.3) | 995 (103.6) | 2,995 (107.6) | 649 (113.9) | 7,184 (110.9) |

注：鋳鉄鋳物には、鋳鉄管、可鍛鋳鉄を含む。

表2. 鉄鋳物の生産量推移

単位：千トン、()：対前年比%

| 年 | 合 計 | 鋳鉄鋳物 | 鋳鉄管 | 可鍛鋳鉄 | 鋳 鋼 |
|------|---------------|---------------|-------------|------------|-------------|
| 2000 | 4,941 (104.2) | 3,998 (106.2) | 580 (91.3) | 98 (96.4) | 264 (102.6) |
| 2005 | 5,036 (103.0) | 4,299 (104.8) | 403 (88.9) | 58 (74.8) | 277 (107.1) |
| 2010 | 4,030 (123.9) | 3,469 (132.4) | 316 (79.1) | 39 (104.9) | 207 (104.3) |
| 2014 | 4,058 (100.1) | 3,482 (100.0) | 360 (104.7) | 44 (95.7) | 172 (94.5) |
| 2015 | 3,929 (96.8) | 3,331 (95.7) | 398 (110.6) | 43 (97.6) | 157 (91.1) |
| 2016 | 3,736 (95.1) | 3,237 (97.1) | 310 (77.9) | 41 (95.3) | 150 (95.6) |
| 2017 | 3,887 (104.0) | 3,434 (106.1) | 249 (80.3) | 42 (102.4) | 162 (107.9) |
| 2018 | 3,967 (102.1) | 3,511 (102.2) | 249 (100.0) | 40 (95.0) | 168 (103.6) |
| 2019 | 3,745 (94.4) | 3,323 (94.6) | 231 (92.7) | 38 (94.9) | 153 (91.2) |
| 2020 | 3,153 (84.2) | 2,768 (83.3) | 234 (101.3) | 29 (77.6) | 122 (79.7) |
| 2021 | 3,557 (112.8) | 3,170 (114.5) | 224 (95.7) | 30 (101.3) | 133 (109.0) |
| 2022 | 3,486 (98.0) | 3,115 (98.3) | 205 (91.7) | 29 (98.4) | 137 (103.0) |
| 2023 | 3,433 (98.5) | 3,080 (98.9) | 193 (94.0) | 29 (98.4) | 131 (95.7) |

表3. 精密鋳造品・非鉄金属鋳物の生産量推移

単位：トン、()：対前年比%

| 年 | 精密鋳造品 | 銅合金 | アルミ鋳物 | ダイカスト |
|------|---------------|----------------|-----------------|-------------------|
| 2000 | 7,345 (111.4) | 87,093 (105.3) | 412,824 (104.6) | 833,223 (109.4) |
| 2005 | 7,380 (97.9) | 97,794 (92.7) | 412,483 (103.7) | 1,064,866 (108.1) |
| 2010 | 5,899 (136.0) | 79,293 (105.3) | 386,812 (132.5) | 980,850 (129.3) |
| 2014 | 6,702 (105.4) | 77,113 (105.0) | 417,299 (100.8) | 1,001,099 (101.6) |
| 2015 | 5,824 (86.9) | 77,884 (101.0) | 418,556 (100.3) | 977,481 (97.6) |
| 2016 | 5,441 (93.4) | 77,477 (99.4) | 423,646 (101.2) | 980,413 (100.3) |
| 2017 | 5,353 (98.4) | 75,387 (97.3) | 441,837 (104.3) | 1,043,558 (106.4) |
| 2018 | 5,053 (94.4) | 74,559 (98.9) | 454,069 (102.8) | 1,074,522 (103.0) |
| 2019 | 4,172 (82.6) | 70,963 (95.2) | 437,339 (96.3) | 1,022,064 (95.1) |
| 2020 | 3,859 (92.5) | 57,019 (80.4) | 343,652 (78.6) | 839,132 (82.1) |
| 2021 | 4,713 (122.1) | 59,585 (104.5) | 374,042 (108.8) | 925,287 (110.3) |
| 2022 | 4,439 (94.2) | 58,870 (98.8) | 363,861 (97.3) | 894,912 (96.7) |
| 2023 | 4,210 (94.8) | 57,440 (97.6) | 390,913 (107.4) | 961,949 (107.5) |

II. 協会活動の概要

2023年度は、前年度に引き続き「鑄造産業ビジョン2017（2017年9月）」が目指すべき姿を実現するためのアクションプランにおいて課題とした「IoTなどの新しい技術を取り入れた設備投資とスマートファウンドリーの実現」に向けた検討を行うとともに、前年度からの継続として、①技術開発による商品開発力の向上、②経営基盤強化と健全な取引による事業発展、③同業／異業／地域との積極的な連携による競争力強化、④海外との連携、⑤人材育成の充実、⑥環境・エネルギー対策の強化に基づく事業計画に従って協会事業活動を推進した。

2023年度の主な事業活動は次のとおり。

1. 「新鑄造産業ビジョン2017」で提唱したIoT等の推進を図るため、IoT推進特別委員会を10名の委員及びアドバイザーで2回開催し、セミナー2回、IoT LTを1回、工場見学会1回を企画・開催した。
2. 世界的に高まる温室効果ガス削減への動きから、我が国においてもカーボンニュートラルに向けた温室効果ガスの削減目標が政府より示されている。鑄造業界においてもこの政府目標を達成するため、カーボンニュートラル特別委員会及びWGを開催し温室効果ガス（主にCO₂）削減の講ずべき対策を検討した。
3. 令和6年度予算・税制要望として政府、鑄物議連等に対して、①取引慣行適正化の推進、②エネルギーコスト高騰に対する支援、③鉄スクラップ等の原材料・副資材の安定供給、④物流業界の2024年問題への対策の徹底、⑤温室効果ガス削減に向けた工程表の提供、支援策の拡充、⑥特定技能外国人材制度及び外国人技能実習制度の柔軟な運用、⑦経営者保証に関するガイドラインの周知・徹底、⑧大学等における鑄造分野の技術取得の専門課程の拡充などを要望した。
4. 「未来志向型の取引慣行に向けて」に基づき、素形材産業適正取引に関する自主行動計画を関係11業界団体とともに改定した。また、取引適正化への取組みに関するフォローアップ調査を行うとともに、政府へ報告した。また、取引価格適正化では、エネルギー価格ならびに円安、ウクライナ情勢に伴う物価高騰、労務費や2024年物流問題に伴う運送費の上昇等、設備維持管理費の負担増に対して、2024年1月に会長名文書「健全な取引ならびに安定供給に向けたお願い」を発行した。ほかにも、労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針（2023年11月）、下請取引の適正化について（2023年12月通達）を周知徹底し、会員企業の取引慣行適正化を支援した。
5. 経営部会市場調査委員会では、四半期毎に実施している景況調査において、原材料、副資材、エネルギー価格、労務費上昇分の転嫁状況を収集・確認し、会員企業へのフィードバックならびに各種会合等において調査結果を報告するとともに、政府や鑄物議連等の要望に反映した。
6. 環境分野では、引き続き、環境・エネルギー対策となるCO₂削減に関してのアンケートを実施するとともに、カーボンニュートラル特別委員会および鑄造ジャーナルにおいて調査結果を公表した。他にも2023年12月には、会員企業への省エ

ネ・CN情報の提供を目的とした省エネセミナーおよびパネル展示会を開催し、セミナーに60名、パネル展示会に12社が参加した。

7. 標準化では、2022年度に公示された「JIS G 5502 球状黒鉛鋳鉄品」に対する改正規格（追補）原案を作成した。これは2022年度に改正原案を提出した「JIS G 5503 球状黒鉛鋳鉄品」の改正規格とともに2024年3月公示された。JIS規格では他にも「JIS Z 5903 鋳鉄製又は鋳鋼製のショット及びグリット」の改正原案を作成し、2024年2月に納品した。また、ISO/TC25 国内審議会の活動として第34回ISO/TC25 全体会議に参加し、鋳鉄品のISO規格の改正動向の共有等を図った。
8. 国際交流として、GIFA及び欧州工場の視察団を6月に派遣するとともに、日独米の若手経営者・技術者の情報交換の場となるYoung Professional Program (YPP) の日本大会を3月に岡山・広島地区で開催した。
9. 将来の鋳物工場の経営者や工場長の育成を目指す人材育成事業「鋳造カレッジ」は、地区共通Web講義を全国的に導入し、関東、東海、中国四国地区にて開催した。受講生は鋳鉄コース70名、鋳鋼コース8名、合計78名。なお、延期となっていた2022年度軽合金インターンシップを実施した。
10. 若手社員を対象とした新人教育研修プログラム「鋳造入門講座（鋳鉄・アルミニウム鋳物コース）」は、4月～9月にかけて対面とオンラインの両形式を取り入れて開講し57名が受講（自己都合による途中辞退等2名）し、本講座の修了生は、2023年度で累計719名となった。
11. 課題解決型専門コースである「鋳造カレッジ上級コース（鋳鉄材料・砂型コース）」は、応募者が最少催行人数未達のため今年度は順延とし、開講を見合わせた。
12. 専門研修としては、現場技術者及び作業者を対象として、鋳造の基礎技術に関する講座「鋳造技術研修会」を、オンライン講義にて実施。「溶解・築炉」（8月・10月）、「方案・欠陥」（1月・3月）の延べ4日開催し、167名が受講した。また、「3D-CAD技能研修会」を7月に実施し、11名が受講した。
13. 地方組織の活性化を推進するため、東海支部、北陸支部、中国四国支部の3支部活動を支援して地域活動を展開した。併せて、島根県鋳造関連産業振興協会との交流を実施した。
14. 大会事業としては、5月に社員総会に併せて春季大会（協会賞表彰式、鋳造技士・上級鋳造技士認定証授与式、懇親会）、10月に京都地区で秋季大会（懇親会・講演会・懇親ゴルフ大会）を開催した。また、若手経営者全国大会を9月に北海道（講演会・懇親会・工場見学会）と2月に横浜（講演会・懇親会）に於いて開催した。

Ⅲ. 会議に関する事項

1. 会議に関する事項

本会運営上の基本的な事項及び重要案件を審議決定するため、総会1回、理事会、正副会長会5回、協会役員会4回、監事会1回をそれぞれ開催し、事業の円滑な推進を図った。また、次期の理事・協会役員等の選任を審議、会長へ答申するため役員選考委員会を3回開催した。

(1) 社員総会開催日程

第11回社員総会 2023年5月23日(火) 機械振興会館

(2) 理事会 (①以外は協会役員会と合同開催)

- ① 第50回 2023年4月25日(火) 機械振興会館
- ② 第51回 2023年5月23日(火) 機械振興会館
- ③ 第52回 2023年10月12日(木) ホテルグランヴィア京都
- ④ 第53回 2024年1月23日(火) 東京プリンスホテル
- ⑤ 第54回 2024年3月15日(金) 機械振興会館

(3) 正副会長会

- ① 第93回 2023年4月25日(火) 機械振興会館
- ② 第94回 2023年7月14日(金) 機械振興会館
- ③ 第95回 2023年9月19日(火) 機械振興会館
- ④ 第96回 2023年12月8日(金) 機械振興会館 (ハイブリッド)
- ⑤ 第97回 2024年2月22日(木) 機械振興会館

(4) 協会役員会 (理事会と合同開催)

- ① 第38回 2023年5月23日(火) 機械振興会館
- ② 第39回 2023年10月12日(木) ホテルグランヴィア京都
- ③ 第40回 2024年1月23日(火) 東京プリンスホテル
- ④ 第41回 2024年3月15日(金) 機械振興会館

(5) 監事会

2023年4月19日(水) 機械振興会館にて監事会を開催し、2022(令和4)年度事業報告書、同収支決算書及び財産目録について監査を行った。

(6) 役員選考委員会 (委員長 大田 喜穂)

- ① 第1回 2023年10月2日(月) 機械振興会館
- ② 第2回 2023年11月29日(水) 機械振興会館
- ③ 第3回 2024年2月2日(金) 機械振興会館

2. 部会に関する事項

(1) 総務部会

佐藤孝造総務部会長の下に、総務部会を4回開催し、本会の財務・経理及び組織・運営(他の部会に属するものを除く)に関する事項について審議した。

- ① 第1回 2023年6月26日(月) 機械振興会館
- ② 第2回 2023年9月13日(水) 機械振興会館
- ③ 第3回 2023年11月17日(金) 株高岡製作所 会議室
- ④ 第4回 2024年2月9日(金) 機械振興会館

(2) 経営部会

武山尚生経営部会長の下に、経営部会を4回開催し、部会の運営に関する基本的、重要な事項についての検討及び会員の企業経営に役立つ情報の提供ならびに行事等の企画・立案について審議した。なお、今年度は、(1)人材確保、定着

化を図るため、賃上げできる環境の整備、(2)引き続き、取引適正化の推進を図る。特に労務費など進捗の遅れている項目や新しく負担となる項目について優先事項として推進する。の2項目を重点項目として活動を実施した。

- ① 第70回 2023年 6月 28日(水) 機械振興会館(ハイブリッド)
- ② 第71回 2023年 10月 3日(火) Web
- ③ 第72回 2023年 12月 14日(木) 機械振興会館
- ④ 第73回 2024年 2月 15日(木) 機械振興会館(ハイブリッド)

また、業界の動向を把握し、統計データ、最近の鑄造業界動向、原材料副資材コスト動向の会員への情報提供を行った。

(3) 技術・環境部会

石田吉孝技術・環境部会長の下に、技術部会を4回開催し、部会の運営に関する基本的、重要な事項についての検討及び委員会運営等に関する事項について審議した。また、第4回には茨城県勝田地区の工場見学会を開催した。

- ④ 第1回 2023年 7月 5日(水) 機械振興会館(ハイブリッド)
- ② 第2回 2023年 10月 6日(金) 機械振興会館(ハイブリッド)
- ③ 第3回 2023年 12月 22日(金) 機械振興会館(ハイブリッド)
- ④ 第4回 2024年 3月 7日(木) ホテルクリスタルパレス(ハイブリッド)

(4) 国際部会

岡村富雄国際部会長の下に、国際部会を4回開催し、国際交流、海外視察・調査等に関する事項について審議した。

- ① 第1回 2023年 6月 1日(木) 機械振興会館(ハイブリッド)
- ② 第2回 2023年 9月 20日(水) 株式会社木村鑄造所 会議室(ハイブリッド)
- ③ 第3回 2023年 11月 30日(木) 機械振興会館(ハイブリッド)
- ④ 第4回 2024年 2月 1日(木) 機械振興会館(ハイブリッド)

(5) 機材部会

渡辺兼三機材部会長の下に、機材部会を4回開催し、機材部会としての活動方針・計画等に関する事項について審議した。

- ① 第1回 2023年 7月 6日(木) 機械振興会館(ハイブリッド)
- ② 第2回 2023年 10月 17日(火) シアーズホーム(ハイブリッド)
- ③ 第3回 2023年 12月 5日(木) 機械振興会館(ハイブリッド)
- ④ 第4回 2024年 2月 6日(火) 機械振興会館(ハイブリッド)

IV. スマートファウンドリー化の推進(鑄造産業ビジョン2017)

2017年9月に策定した「鑄造産業ビジョン2017」では、会員企業の取組みへの提言として、目指すべき姿を実現するためのアクションプランの課題に「IoTなどの新しい技術を取り入れた設備投資とスマートファウンドリーの実現」を掲げてきた。この課題実現への取組みとして、技術・環境部会及び機材部会では、既存委員会の重点テーマとして、主に技術面から会員企業のスマートファウンドリー化の推進を検討。また、鑄造工場のIoT化を経営戦略の観点から機動的に推進するため2019年度に設置した「IoT推進特別委員会」においては、鑄造IoTTLT(Lightning Talk)及び工場見学会を引き続き開催した。加えて、2018年度に実施したIoTアンケートに新たにAI等の項目を追加の上、改めて調査を実施し、前回との比較ならびにIoT化の現状について確認、フィードバックした。

(1) IoT推進特別委員会(委員長 藤原 宏嗣)

- ① 第1回 2023年 7月 11日(火) Web

- ② 第2回 2023年12月11日(月) Web
- (2) セミナー、鑄造IoTTLT
 - ① 2024年2月29日(木) Web セミナー
 - ② 2024年3月4日(月) セミナー、IoTTLT Vol.8
- (3) 工場見学会
 - ① 2023年11月2日(木) (株)樋口製作所
- (4) アンケート
 - ① 2024年2月～3月実施 44社回答

V. カーボンニュートラル達成に向けた取り組み

世界的に高まる温室効果ガス削減への動きから、我が国においてもカーボンニュートラルに向けた温室効果ガスの削減目標が政府より示されている。鑄造業界においてもこの政府目標を達成するため、温室効果ガス(主にCO₂)削減に向けて講ずべき対策を検討する「カーボンニュートラル特別委員会」を発足し、委員会とともに調査・セミナーWG、削減計画WG、モデル工場実態調査WGの3つのWGを設置し活動を実施。削減計画WGでは、施策項目についての評価リスト「バージョン0」作成し協会ホームページ(会員専用ページ)に公開した。

- (1) カーボンニュートラル特別委員会(委員長 岡村 富雄)
 - ① 第9回 2023年8月30日(水) 機械振興会館(ハイブリッド)
 - ② 第10回 2023年10月25日(水) 機械振興会館(ハイブリッド)
 - ③ 第11回 2023年12月18日(月) 機械振興会館(ハイブリッド)
 - ④ 第12回 2024年2月28日(水) 機械振興会館(ハイブリッド)
- (2) 実態調査・セミナーWG(エネルギー削減委員会と合同開催)
 - ① 第1回 2023年6月7日(金) Web
 - ② 第2回 2023年9月13日(月) Web
 - ③ 臨時 2023年12月1日(金) Web
 - ④ 第3回 2024年1月26日(金) Web
 - ⑤ 第4回 2024年3月14日(木) Web
- (3) 削減計画WG
 - ① 第1回 2023年7月26日(水) Web
 - ② 第2回 2023年10月16日(月) Web
 - ③ 第3回 2023年12月8日(金) Web
 - ④ 第4回 2024年2月8日(木) Web
- (4) モデル工場実態調査WG
 - ① 第1回 2023年12月27日(水) (株)ハイキャスト

VI. 事業活動に関する事項

1. 大会及び講演会・講習会・懇親会等の開催に関する事項

- (1) 2024年 新年賀詞交歓会
 - 2024年1月23日(火) 東京プリンスホテル マグノリアホール 参加者数267名
 - ・来賓参加: 新藤 義孝 経済再生担当大臣(衆議院議員)
 - 経済産業省 大臣官房 橋本 真吾 審議官 他
- (2) 2023年度春季大会の開催
 - 2023年5月23日(火) 春季大会の一連の行事として、機械振興会館ならびに東京プリンスホテルに於いて、社員総会、理事会・協会役員会、協会賞表彰式、

鑄造技士・上級鑄造技士認定証授与式、懇親会を開催した（懇親会参加者数 108 名）。

(3) 2023 年度秋季大会の開催

2023 年 10 月 12 日（木）～ 14 日（土）於 京都他

① 懇親会

2023 年 10 月 12 日（木）参加者数 109 名 ホテルグランヴィア京都

② 講演会

2023 年 10 月 13 日（金）参加者数 91 名 ホテルグランヴィア京都

| 演 題 | 講演者他（所属） |
|--|-----------------------|
| (1) 国際部会企画 【GIFA2023 視察団報告】 | |
| ① 2023 GIFA 展示会および欧州鑄造工場視察報告 | (株)マツバラ 松原 史尚(団長) |
| ② GIFA2023 視察報告書（非鉄） | (株)木村鑄造所 福尾 太志(団長) |
| ③ 2024 タイ鑄造工業視察団について | 事務局 |
| (2) 機材部会企画 【機材企業からの省力化、省エネ化等の事例紹介】 | |
| ① シェル中子のバリ取り自動化に向けた取り組み | (株)ツチヨシ・マテック 尾鼻 美規 |
| ② 乾燥レスの CN 対応耐火物開発やアルミ炉の 熱間作業低減等 | 日本ルツボ(株) 鈴木 裕之 |
| ③ Monitizer® Digital Solution スマートファウンドリーへ向けて | デイサ(株) 田中 重徳 |
| ④ 鑄造工場における ロボット化 自動化のご紹介 | 三明機工(株) 遠藤 公洋 |
| ⑤ スライドミキサの活用による省力化事例 | 太洋マシンリー(株) 藤島 和博 |
| (3) 技術・環境部会企画 【技術開発賞講演他】 | |
| ① 電気式取鍋加熱装置の開発 | 日本ルツボ(株) 鈴木 裕之 |
| ② キュポラのカーボンフリー燃料部分転換 | マツダ(株) 田中 裕一 |
| ③ PRTR マニュアルの改定 | 事務局 |
| (4) 経営部会企画 【「人材確保は、現在(いま)、最大の経営課題」 ～選ばれる会社ですか】 | |
| ① 女性の活躍推進 | 丹羽鑄造(株) 丹羽 龍 |
| ② 選ばれる企業となるために | 昭和電気鑄鋼(株) 手塚 加津子 |
| ③ よりよき明日へ | ヨシワ工業(株) 吉野 正弘 |

③ 親睦ゴルフ大会

2023 年 10 月 14 日（土）参加者数 14 名 滋賀県 瀬田ゴルフコース東コース

(4) 若手経営者全国大会

若手経営者委員会が企画・運営する全国大会を夏季・冬季の2回開催した。

① 夏季大会（北海道）

【講演会】2023年9月7日（木）ANA クラウンプラザホテル札幌

参加者数 104 名

| 演 題 | 講 演 者 (所 属) |
|---------------------------------------|------------------------------------|
| 「素形材産業の概況について ～エネルギー、国際的視点を加えた考察～」 | 経済産業省 製造産業局 素形材産業室長 星野 昌志 |
| 「ものづくりはひとつづくりーSDGs を考慮し た素形材産業の未来」 | 室蘭工業大学 教授 (公社) 日本鑄造工学会 会長 清水 一道 |
| 「ナッジで人を動かす」 | 青森大学 客員教授 竹林 正樹 |

【工場見学会】参加者数 70 名

A コース：佐藤鑄工(株)、シンセメック(株)

B コース：(株)光合金製作所、札幌高級鑄物(株)

C コース：(株)日邦バルブ、いすゞエンジン製造北海道(株)

② 冬季大会（素形材団体との交流会）

【講演会】2024年 2月 16日（金）横浜国際平和会議場（パシフィコ横浜）

参加者数 講演会 137 名、懇親会 131 名

| 演 題 | 講 演 者 (所 属) |
|---|------------------------------|
| 「日本の素形材産業の展望」 | 経済産業省 製造産業局 素形材産業室長 星野 昌志 |
| 「がんばれ日本のものづくり ～日本の産業化の歴史と、 EV化なども含めた今後の展望～」 | 産業遺産情報センター センター長 加藤 康子 |

(5) 非鉄情報交換会

参加企業による地域及び業界動向、価格転嫁についての情報交換を行い、協会非鉄関連事業の紹介と報告を併せて実施した。

① 春季非鉄情報交換会（第 17 回）参加者数 23 名

2023年 6月 2日（金）セミナー・情報交換会 機械振興会館

セミナー：「カーボンニュートラルについて」

講 師：沖 寿之（(株)木村鑄造所 システム改革部）

② 秋季非鉄情報交換会（第 18 回）参加者数 48 名

2023年 11月 10日（金）工場見学・情報交換会

工場見学会：寿工業(株)

情報交換会：名古屋市 The Opera

(6) 安全衛生対策セミナー

労働災害の減少を図るため、「災害未然防止」と「メンタルヘルス」をテーマにしたオンラインセミナーを（一社）日本鋳鍛鋼会、（一社）日本ダイカスト協会及び（一社）日本鍛造協会と合同で開催した。

参加者数 22 名（4 団体合計 56 名）

日 時：2023 年 12 月 5 日（火）10：20～16：10

場 所：Web（東京交通会館ビル第二会議室）

プログラム

| 演 題 | | 講 演 者 (所 属) |
|---------------------|-----------------------|------------------|
| 【講義 1】 10:30～12:00 | | |
| 職場のメンタルヘルス対策 | | 中央労働災害防止協会 山口 英郎 |
| 1 | 働く人のストレスとメンタルヘルス対策 | |
| 2 | 管理監督者の役割 | |
| 3 | 【実習】「積極的傾聴法」または「事例検討」 | |
| 4 | クレーン・玉掛け改善事例 | |
| 【講義 2】 13:10～16:00 | | |
| 明日からできる労働安全衛生活動の活性化 | | （一社）中部産業連盟 小島 康幸 |
| 1 | 労働災害の現状と企業への影響を知る | |
| 2 | こんなところが危ない！職場の危険箇所を知る | |
| 3 | 自社の安全活動の活性化を知る | |
| 4 | 活性化の基本的要件の備え方 | |
| 5 | 活性化するための従業員の巻き込み方 | |
| 6 | 活性化企業の事例を知る | |

(7) 5 団体共催セミナー

（一社）日本ダイカスト協会、（一社）日本鍛造協会、（一社）日本鋳鍛鋼会及び高度ポリテクセンター*の 5 団体合同で、各協会の会員に対して、以下に示す基礎的な研修セミナーを開催した。本会からは延べ 32 名（全体で 37 名）の参加があった。

① 2次元CADによる機械製図技術【AutoCAD】

2023 年 5 月 30 日（火）～ 31 日（水）4 名（全 5 名）

② 一人前に近づく 鋼の熱処理

2023 年 6 月 14 日（水）～ 15 日（木）3 名（全 3 名）

③ 3次元CADを活用したソリッドモデリング技術【SolidWorks】

2023 年 10 月 24 日（火）～ 25 日（水）6 名（全 6 名）

④ 生産設備を故障させないための機械保全

2024年1月18日(木)～19日(金)7名(全9名)

⑤ 工業・製品図面読み方のポイント

2024年2月5日(月)、9(金)、13(火)、3月1日(金)12名(全14名)

* (独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構 高度職業能力開発促進センター

(8) 鋳造用 3D-CAD 研修会

2023年7月5日(木)～6日(金) 機械振興会館 参加者数 11名

プログラム

| コース | 内 容 | 講習時間 |
|---------------------|---|-------------------------|
| 2D/3D 標準基礎 教育 | <ul style="list-style-type: none"> ・研修内容説明、CAD モデル活用例の紹介 (鋳造 CAE) ・基本操作：メニュー、画面操作、ビュー、座標系 ・基本作図・モデリング：ソリッドモデリング、レイアウト作成、サーフェスの基本 ・編集機能：形状修正、変形、複写・移動 ・便利機能：マスク、断面、計測、マスプロパティ ・各種設定・カスタマイズ | 1 日目 10:00～ 17:00 |
| 3D 鋳造特有 の操作 | <ul style="list-style-type: none"> ・標準基礎教育 (復習) ・完品図から素材図への展開 (穴削除、R 作成) ・鋳造方案作成：湯口、湯道 ・鋳造方案作成：堰、湯だまり ・鋳造方案作成：押湯、STL 出力 ・鋳造方案変更：押湯変更、スリーブ、冷金の追加 ・外部ファイル出力：STL 出力(鋳造 CAE 用データ) | 2 日目 9:30～ 16:30 |

(9) 第 6 回省エネセミナー

2023年12月12日(火) 機械振興会館 参加者数 60名

(公社)日本鋳造工学会、(一社)日本ダイカスト協会の協賛により、昨年同様「鋳造業におけるカーボンニュートラルに向けた取り組み」を副題とし、下記の内容で開催した。

プログラム

| 演 題 | 講 演 者 |
|--|-------|
| パネル展示会：設備メーカーの取り組み(パネル展示会にて、出展者と交流) | |
| 出展者(12社、ブース番号順)： 日本ルツボ(株)、太洋マシナリー(株)、(株)セーフウェイジャパン、インダクトサームグループジャパン(株)、新東工業(株)、富士電機(株)、油圧機工業(有)、大阪特殊合金(株)、(株)南武、WINOA IKK JAPAN(株)、(株)ナニワ炉機研究所、(株)IHI | |

| | | |
|-----------------------------|---|--------------------------|
| セミナー第一部： 鑄造工場における改正省エネ法への対応 | | |
| 1 | 最近の省エネルギー政策の動向について | 資源エネルギー庁 省エネルギー課 中嶋 佑 |
| 2 | お客様の脱炭素に関する課題に寄り添った関西電力の「ゼロカーボンパッケージ」活動について | 関西電力(株) 生島正之助 |
| 3 | 鑄造分野における LCA 視点の CN 推進 | トヨタ自動車(株) 古川 雄一 |
| セミナー第二部：鑄造工場における省エネ事例 | | |
| 4 | アルミニウム合金鑄物の熱処理の省エネ | いすゞ自動車(株) 茂泉 健 |
| 5 | 軽合金鑄造における省エネ活動 | (株)田島軽金属 駒木 博 |
| 6 | 鑄造工場における省エネ活動 | アイシン高丘(株) 鑄造生技部 宮崎 剛 |
| 7 | 鑄鉄自硬性工場における電力の見える化と省エネ活動 | (株)ハイキャスト 牧元 貴史 |

2. 国際競争力を発揮できる環境の整備に関する事項

(1) 鑄物産業振興議員連盟への要望

2023年6月16日に開催された自由民主党「第23回鑄物産業振興議員連盟 総会（会長：麻生太郎衆議院議員）」に併せて情報交換会を実施し、議員連盟及び経済産業省他官公庁に向けて、下記の施策・税制要望ならびに情報交換を行った。

【重点項目】

1. 取引慣行適正化の推進
2. エネルギーコスト高騰に対する支援
 - ①電力、ガス等のエネルギー価格高騰に対する支援
 - ②原子力発電の安全性を確保した早期再稼働を含めた安価で安定的なエネルギー供給
 - ③FIT 制度及び FIP 制度における賦課金の抑制および減免制度の入口要件の見直し
3. 鉄スクラップ等の原材料・副資材の安定供給
4. 物流業界の 2024 年問題への対策の徹底
5. 温室効果ガス削減に向けた工程表の提供、支援策の拡充

【施策関連要望】

1. 特定技能外国人材制度及び外国人技能実習制度の柔軟な運用
2. 経営者保証に関するガイドラインの周知・徹底
3. 大学等における鑄造分野の技術取得の専門課程の拡充

【予算・税制要望】

1. ものづくり・商業・サービス補助金、事業再構築補助金等の生産性向上や事業再構築のための補助金制度の存続
2. 電力多消費産業に対する省エネ投資支援施策の拡充
3. 中小企業に配慮した人材育成等への助成の復活・拡充
4. 地球温暖化対策税の用途拡大や安易な課税拡大の反対

5. 中小企業・小規模事業者の設備投資を支援する税制措置の延長
- (2) 経営基盤強化に係る政策制度への対応
2023年11月2日に開催された自由民主党「予算・税制等に関する政策懇談会」において下記の令和6年度の予算・税制要望を行った。

【重点項目】

1. 取引慣行適正化の推進
2. エネルギーコスト高騰に対する支援
 - ①電力、ガス等のエネルギー価格高騰に対する支援
 - ②原子力発電の安全性を確保した早期再稼働を含めた安価で安定的なエネルギー供給
 - ③FIT制度及びFIP制度における賦課金の抑制および減免制度の入口要件の見直し
3. 鉄スクラップ等の原材料・副資材の安定供給
4. 物流業界の2024年問題への対策の徹底
5. 温室効果ガス削減に向けた工程表の提供、支援策の拡充

【施策関連要望】

1. 特定技能外国人材制度及び外国人技能実習制度の柔軟な運用
2. 経営者保証に関するガイドラインの周知・徹底
3. 大学等における鑄造分野の技術取得の専門課程の拡充

【予算・税制要望】

1. ものづくり・商業・サービス補助金、事業再構築補助金等の生産性向上や事業再構築のための補助金制度の存続
2. 電力多消費産業に対する省エネ投資支援施策の特例
3. 中小企業に配慮した人材育成等への助成の復活・拡充
4. 地球温暖化対策税の用途拡大や安易な課税拡大の反対
5. 中小企業・小規模事業者の設備投資を支援する税制措置

3. 鑄造業の経営改善・振興対策、その他に関する事項

(1) 取引条件適正化の推進

- ① 素形材産業取引適正化委員会（丹羽副会長が委員）
2023年8月31日、10月30日、オンラインにて開催。素形材産業適正取引自主行動計画改訂、徹底プランの策定について審議し、12月20日に公表された。
- ② 素形材産業における物流の適正化・生産性向上に向けた自主行動計画策定検討委員会（武山副会長が委員）
2023年8月4日、10月30日、オンラインにて開催。物流の適正化・生産性向上に向けた自主行動計画改訂について審議し、12月20日に公表された。
- ③ 中小企業政策審議会中小企業経営支援分科会取引問題小委員会
2024年3月8日に取引問題小委員会が開催され、鈴木専務理事が参加し、2024年自主行動計画フォローアップ結果を報告した。
- ④ 物流の適正化・生産性向上に向けた自主行動計画、素形材産業自主行動計画の改訂、「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」（2023年11月）、「下請取引の適正化について」（2023年12月通達）、3月、9月の「価格交渉促進月間」等について、経営部会、組合代表者会等で周知したほか、協会ホームページ等で周知徹底し、会員企業の取引慣行適正化を支援した。

- ⑤ 自主行動計画フォローアップ調査（経産省）
自主行動計画フォローアップ調査を会員鑄造企業（受注側・発注側）に対して実施し、調査結果の概要を協会ホームページへの掲載等周知した。
 - ⑥ 日本自動車部品工業会と素形材産業 8 団体との懇談会
2023 年 7 月 25 日（オンライン）及び 2024 年 3 月 26 日（対面）に開催し、岡村副会長及び鈴木専務理事が参加。自動車部品工業会より取引適正化等に係る取組み、素形材産業各団体より自主行動計画フォローアップ調査の結果等を説明し、取引適正化等に向けた意見交換を行った。
 - ⑦ 「会長名お願い文書」発行
エネルギー価格ならびに物価高騰、労務費上昇などに対し、2024 年 1 月、会長名の「健全な取引ならびに安定供給に向けたお願い」を発行し、会員企業の取引慣行適正化を支援した。
- (2) 再生エネルギー固定買取制度（FIT）減免制度への対応
減免基準（製造業平均の 8 倍）を満たせず、減免措置が認定されない可能性がある企業があることから、同基準算出方法の変更および柔軟な運用について経済産業省に要望し、該当企業を調査の上、一部の企業が同省資源エネルギー庁より算出方法についてアドバイスを受けた。
- (3) 2024 年物流問題に関し、業界の現状、課題、政府への要望に関するアンケートを行い、取りまとめたうえで経産省へ提出した。また、人材確保につなげるべく「年間休日・労働時間に関するアンケート」を実施し、業界の実態を取りまとめ、2023 年 10 月に会員企業にフィードバックした。
- (4) 日本鉄鋼連盟他電力多消費産業（団体）との情報交換会
2023 年 8 月 22 日に鉄鋼会館にて情報交換会が開催され、事務局が参加した。
- (5) 電気料金等の高騰への対応
省エネ支援策パッケージや電気・ガス価格激変緩和対策、地方創生臨時交付金を活用した電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金等の政府施策を会員企業に周知徹底した。
- (6) 景況の把握と困りごとの収集
市場調査委員会で実施している四半期毎の景況調査において、新たな調査項目として原材料、副資材、エネルギー価格、労務費上昇分の転嫁状況等ならびに困りごと等を収集、確認した。本集計結果は鑄造ジャーナル、協会ホームページ、各種会合等で報告するとともに、市場調査委員会・経営部会において精査・分析の上、政府や鑄物議連等の要望に反映した。
- (7) 経済産業省会員企業視察
以下の日程で経済産業省の会員企業への工場視察ならびに情報交換会を実施した。
- ① 2023 年 5 月 31 日（水）広島県の会員企業 1 社 視察者：素形材産業室
 - ② 2023 年 6 月 9 日（金）茨城県の会員企業 1 社 視察者：素形材産業室
 - ③ 2023 年 8 月 3 日（木）愛知県・岐阜県の会員企業 2 社
視察者：素形材産業室
 - ④ 2023 年 9 月 6 日（水）埼玉県の会員企業 1 社
視察者：製造産業局長、素形材産業室
 - ⑤ 2023 年 9 月 8 日（金）若手経営者夏季全国大会工場見学会
視察者：素形材産業室

4. 同業との連携に関する事項

(1) 量産銑鉄鋳物委員会（委員長 竹内 英貴）

量産銑鉄鋳物企業による市場情報、経営状況、経営課題等の情報交換を目的に情報交換と機械振興会館・オンラインによる会合を計4回開催した。

- ① 第61回 2023年 6月 2日（金）機械振興会館（ハイブリッド）
- ② 第62回 2023年 10月 18日（水）ゴルフオートとやま
10月 19日（木）コマツ 氷見工場 見学
- ③ 第63回 2023年 12月 8日（金）機械振興会館
- ④ 第64回 2024年 3月 7日（木）機械振興会館（ハイブリッド）

(2) 非量産銑鉄鋳物委員会（委員長 若林 誠）

非量産銑鉄鋳物企業による市場情報、経営状況、経営課題等の情報交換を目的に4回開催した。

- ① 第46回 2023年 7月 24日（月）洲崎鋳工(株) 見学・委員会
7月 25日（火）五位堂工業(株) 見学
- ② 第47回 2023年 9月 22日（金）機械振興会館（ハイブリッド）
- ③ 第48回 2023年 11月 27日（月）機械振興会館（ハイブリッド）
- ④ 第49回 2024年 3月 12日（火）機械振興会館（ハイブリッド）

(3) 精密鋳造経営委員会（委員長 今西 寛文）

- ① 第71回 2023年 6月 16日（金）機械振興会館（ハイブリッド）
- ② 第72回 2023年 9月 15日（金）機械振興会館（ハイブリッド）
- ③ 第73回 2024年 1月 26日（金）機械振興会館（ハイブリッド）

(4) 非鉄委員会（委員長 井上 晃）

- ① 第1回 2023年 7月 19日（水）機械振興会館（ハイブリッド）
- ② 第2回 2023年 12月 15日（金）機械振興会館（ハイブリッド）

(5) 軽合金委員会（委員長 田島 正明）

- ① 第1回 2023年 7月 4日（火）機械振興会館（ハイブリッド）
- ② 第2回 2023年 10月 5日（木）機械振興会館（ハイブリッド）
- ③ 第3回 2024年 3月 8日（金）機械振興会館（ハイブリッド）

5. 調査研究に関する事項

市場調査委員会（委員長 武山 尚生）を開催し、景況調査結果による分析、会員企業の困りごとの把握。また、原材料・副資材、エネルギー価格高騰等の状況ならびに対応について審議した。

- ① 第37回 2023年 6月 28日（水）機械振興会館（ハイブリッド）
- ② 第38回 2023年 12月 14日（木）機械振興会館
- ③ 第39回 2024年 2月 15日（木）機械振興会館

6. 鋳造業に係る施策・税制等の要望・陳情に関する事項

令和6年度予算・税制等要望として、6月に自由民主党の鋳物産業振興議員連盟、11月に自由民主党の「予算・税制等に関する政策懇談会」に対して鋳造業界の要望を行った。

7. 中小企業振興に関する事項

(1) 組合代表者会（委員長 丹羽 龍）

組合代表者会を事務局長会と合同で以下のとおり開催した。

- ① 第 62 回 2023 年 7 月 13 日 (木) 機械振興会館
 - ② 第 63 回 2023 年 9 月 28 日 (木) Web
 - ③ 第 64 回 2023 年 12 月 7 日 (木) 機械振興会館
 - ④ 第 65 回 2024 年 3 月 14 日 (木) 機械振興会館
- (2) 組合事務局長会 (委員長 永井 克昌)
 上記第 62~65 回の組合代表者会と合同で組合事務局長会第 72、74~76 回を開催し、単独開催を以下のとおり実施した。
- ① 第 73 回 2023 年 9 月 1 日 (金) 事務局長会単独 機械振興会館
- (3) 若手経営者委員会 (委員長 吉野 正弘)
 若手経営者委員会を 5 回開催し、若手経営者全国大会 (夏・冬) の企画・運営他に関し審議した。
- ① 第 63 回 2023 年 6 月 30 日 (木) 機械振興会館 (ハイブリッド)
 - ② 第 64 回 2023 年 8 月 4 日 (金) ㈱トミナガ 会議室 (ハイブリッド)
 - ③ 第 65 回 2023 年 10 月 26 日 (木) Web
 - ④ 第 66 回 2023 年 12 月 6 日 (水) 機械振興会館 (ハイブリッド)
 - ⑤ 第 67 回 2024 年 3 月 22 日 (金) Web
- (4) 組合だよりの発行
 組合員を対象に各組合の業況、組合代表者会の議事録・報告内容等を掲載した「組合だより」を毎月 (計 12 回) 発行した。

8. 技術開発に関する事項

- (1) キュポラ操業研究委員会 (委員長 米田 博幸)
 テーマ：カーボンニュートラル(CN)及びバイオ原料に関する意見交換
 *)外部組織キュポラ共創 WG と連携
- ① 第 1 回 2023 年 6 月 9 日 (金) 機械振興会館 (ハイブリッド)
 - ② 第 2 回 2023 年 9 月 8 日 (金) 機械振興会館 (ハイブリッド)
 - ③ 第 3 回 2023 年 12 月 7 日 (木) Web
 - ④ 第 4 回 2024 年 3 月 6 日 (水) ㈱マツバラ 見学・委員会
- (2) 電気炉操業研究委員会 (委員長 菅野 利猛)
 テーマ：委員アンケートに基づき、溶湯に関する話題 (溶湯処理、熱分析、溶解法)、品質管理、新 JIS などの議題を討議
- ① 第 1 回 2023 年 6 月 2 日 (金) 機械振興会館 (ハイブリッド)
 - ② 第 2 回 2023 年 9 月 1 日 (金) 機械振興会館 (ハイブリッド)
 - ③ 第 3 回 2023 年 12 月 8 日 (金) 機械振興会館 (ハイブリッド)
 - ④ 第 4 回 2024 年 3 月 1 日 (金) ㈱ハイキャスト会議室 (ハイブリッド)
- (3) 鋳型技術委員会 (委員長 間瀬 和之)
 テーマ：鋳物砂、造型システムに関する最新情報の提供及び討議
- ① 第 1 回 2023 年 6 月 30 日 (金) 機械振興会館 (ハイブリッド)
 - ② 第 2 回 2023 年 9 月 15 日 (金) 機械振興会館 (ハイブリッド)
 - ③ 第 3 回 2023 年 12 月 15 日 (金) ㈱ExONE、㈱コイワイ 見学
 - ④ 第 4 回 2024 年 3 月 15 日 (金) 機械振興会館 (ハイブリッド)
- 小 Gr での活動：JACT 試験法改正のため、全体打合せを 5 回開催。
- ① 第 1 回 2023 年 6 月 30 日 (金) 機械振興会館 (ハイブリッド)
 - ② 第 2 回 2023 年 9 月 7 日 (木) 機械振興会館 (ハイブリッド)
 - ③ 第 3 回 2023 年 10 月 19 日 (木) Web
 - ④ 第 4 回 2023 年 11 月 19 日 (水) Web

- ⑤ 第5回 2024年 2月 14日 (木) Web
- (4) 精密鑄造技術委員会 (委員長 登 勇氣)
 - テーマ：精密鑄造用3Dワックス模型の適用検討、海外技術情報の交換、他見学会(1回)：第4回にて物質・材料研究機構(つくば市千現地区)を訪問(公社)日本鑄造工学会精密鑄造研究部会との共同開催で実施した。
 - ① 第1回 2023年 5月 26日 (水) 機械振興会館 (ハイブリッド)
 - ② 第2回 2023年 8月 25日 (水) 機械振興会館 (ハイブリッド)
 - ③ 第3回 2023年 11月 14日 (火) 機械振興会館 (ハイブリッド)
 - ④ 第4回 2024年 2月 22日 (木) 物質・材料研究機構 (ハイブリッド)
- (5) 銅合金技術委員会 (委員長 丸山 徹)
 - テーマ：金型分科会(青銅合金の金型鑄造)、標準化分科会、及びJIS分科会(JIS H 5120CAC400系及びCAC500系鑄物へのBi,Sの影響の調査)他
 - ① 第1回 2023年 7月 26日 (水) 機械振興会館 (ハイブリッド)
 - ② 第2回 2023年 10月 23日 (月) ユラックス熱海 (ハイブリッド)
 - ③ 第3回 2023年 12月 21日 (木) 機械振興会館 (ハイブリッド)
 - ④ 第4回 2024年 3月 12日 (火) 機械振興会館 (ハイブリッド)

9. 環境に関する事項

- (1) エネルギー削減委員会 (委員長 守田 有道)
 - 【委員会】(カーボンニュートラル特別委員会WG1と共同開催)
 - ① 第1回 2023年 6月 7日 (木) Web
 - ② 第2回 2023年 9月 13日 (水) Web
 - ③ 臨時 2023年 12月 1日 (火) Web
 - ④ 第3回 2024年 1月 26日 (金) Web
 - ⑤ 第4回 2024年 3月 14日 (木) Web
 - 【エネルギー使用量調査の実施・結果の公表】
 - 調査を実施し、鑄造ジャーナル2024年2月・3月号に調査結果を公表した。
- (2) PRTRマニュアル(改訂版)の発行
 - 2023年12月『PRTRマニュアル(改訂版)』を発行、2024年1月より書籍の販売を開始した。

10. 指導・教育・人材育成に関する事項

- (1) 人材育成特別委員会 (委員長 大田 喜穂)
 - ① 第1回 2023年 6月 29日 (木) 機械振興会館 (ハイブリッド)
 - ② 第2回 2024年 3月 28日 (木) 機械振興会館
- (2) 鑄造カレッジ企画運営委員会 (委員長 大田 喜穂)
 - (日本鑄造工学会の人材育成委員会と鑄造カレッジ合同委員会を運営)
 - 2023年度鑄造技士認定及び鑄造カレッジ受講者選定の審議にあたっては、書面会議を実施。
 - ① 第1回鑄造カレッジ合同委員会 2023年 5月 16日 (火) 機械振興会館 (ハイブリッド)
 - ② 第2回鑄造カレッジ合同委員会 2024年 3月 5日 (火) Web
- (3) 鑄造カレッジ現地責任者会議 (幹事長 北澤 幸廣)
 - ① 2023年 4月 27日 (木) 鑄造カレッジ軽合金インターンシップ打合せ
 - ② 2023年 5月 29日 (月) 鑄造カレッジ関東地区現地責任者打合せ Web
 - ③ 2023年 6月 1日 (木) 鑄造カレッジ現地責任者打合せ Web

- ④ 2023年 6月 20日 (月) 日本鑄造工学会オンデマンド事業意見交換会
- ⑤ 2023年 6月 26日 (月) 鑄造カレッジ東海地区打合せ Web
- ⑥ 2023年 10月 2日 (月) 鑄造カレッジ現地責任者会議
- ⑦ 2023年 12月 22日 (金) 鑄造カレッジ現地責任者会議 機械振興会館
(ハイブリッド)

(4) 上級カレッジ委員会 (委員長 佐藤 万企夫)

- ① 第1回 2023年 5月 12日 (金) Web
- ② 第2回 2024年 3月 4日 (月) 機械振興会館 (ハイブリッド)

(5) 新人教育研修プログラム委員会 (委員長 北澤 幸廣)

- ① 事前打合せ 2023年 9月 19日 (火) Web
- ② 第1回 2023年 11月 14日 (火) Web
- ③ 第2回 2024年 2月 27日 (火) 機械振興会館

(6) 2023年度鑄造カレッジは全地区共通 Web 講義を導入し、関東、東海、中国四国地区にて開催。また、鑄造入門講座も一部 Web 講義を導入し実施した。

- ① 2023年 4月 14日 (金) 入門講座開講式
- ② 2023年 4月 15日 (土) 入門講座
- ③ 2023年 5月 23日 (火) 鑄造技士・上級技士セミナー、授与式
- ④ 2023年 5月 26日 (金) ~ 27日 (土) 入門講座 Web
- ⑤ 2023年 6月 5日 (月) ~ 9日 (金) 2022年度鑄造カレッジ
軽合金インターンシップ

- ⑥ 2023年 6月 22日 (木)、24日 (土) 入門講座
- ⑦ 2023年 6月 23日 (金) 入門講座 現地研修
- ⑧ 2023年 7月 1日 (土) 鑄造カレッジ 関東地区開講式
- ⑨ 2023年 7月 7日 (金) 鑄造カレッジ 東海地区開講式
- ⑩ 2023年 7月 14日 (金) 鑄造カレッジ 中国四国地区開講式
- ⑪ 2023年 7月 15日 (土) 鑄造カレッジ 関東地区、中国四国地区
- ⑫ 2023年 7月 21日 (金) 鑄造カレッジ 東海地区
- ⑬ 2023年 7月 21日 (金) ~ 22日 (土) 入門講座
- ⑭ 2023年 7月 29日 (土) 鑄造カレッジ 関東地区
- ⑮ 2023年 8月 4日 (金) 鑄造カレッジ 東海地区
- ⑯ 2023年 8月 18日 (金) 鑄造カレッジ 共通 Web
- ⑰ 2023年 8月 25日 (金) ~ 26日 (土) 入門講座 Web
- ⑱ 2023年 9月 1日 (金) 鑄造カレッジ 共通 Web
- ⑲ 2023年 9月 11日 (月) ~ 15日 (金) 鑄造カレッジ

関東地区インターンシップ

- ⑳ 2022年 9月 12日 (火) ~ 15日 (金) 鑄造カレッジ鑄鋼コース専門講義
- ㉑ 2023年 9月 16日 (土) 鑄造カレッジ 中国四国地区
- ㉒ 2023年 9月 22日 (金) 鑄造カレッジ 東海地区
- ㉓ 2023年 9月 29日 (金) 入門講座
- ㉔ 2023年 9月 30日 (土) 入門講座 修了式
- ㉕ 2023年 10月 6日 (金) 鑄造カレッジ 共通 Web
- ㉖ 2023年 10月 20日 (金) 鑄造カレッジ 共通 Web
- ㉗ 2023年 11月 2日 (金) 鑄造カレッジ 共通 Web
- ㉘ 2023年 11月 9日 (木)、11日 (土) 入門講座修了生活動 特別講演他
- ㉙ 2023年 11月 10日 (金) 入門講座修了生活動 現地研修
- ㉚ 2023年 11月 17日 (金) 鑄造カレッジ 東海地区、中国四国地区

- ③① 2023年 11月 18日 (土) 鑄造カレッジ 関東地区、中国四国地区
- ③② 2023年 12月 1日 (金) 鑄造カレッジ 東海地区
- ③③ 2023年 12月 2日 (土) 鑄造カレッジ 関東地区
- ③④ 2023年 12月 8日 (金) 鑄造カレッジ 東海地区・中国四国地区 工場見学
- ③⑤ 2023年 12月 9日 (土) 鑄造カレッジ 中国四国地区
- ③⑥ 2023年 12月 11日 (月) ~ 15日 (金) 鑄造カレッジ
東海地区インターンシップ
- ③⑦ 2024年 1月 22日 (月) ~ 26日 (金) 鑄造カレッジ
中国四国地区インターンシップ
- ③⑧ 2024年 2月 2日 (金) ~ 3日 (土) 鑄造カレッジ 関東地区 工場見学
- ③⑨ 2024年 2月 19日 (月) ~ 23日 (金) 鑄造カレッジ
鑄鋼コースインターンシップ

(7) 日本鑄造工学会意見交換会

- ① 2023年 6月 20日 (火) 機械振興会館
- ② 2024年 2月 5日 (月) 機械振興会館
- ③ 2024年 2月 21日 (水) 機械振興会館 (ハイブリッド)

(8) 鑄造技術研修会

- ① 鑄鉄第1回 2023年 8月 22日 (火) 「築炉・溶解」 Web 44名参加
- ② 鑄鉄第2回 2023年 10月 4日 (水) 「築炉・溶解」 Web 40名参加
- ③ 鑄鉄第3回 2024年 1月 19日 (金) 「方案・欠陥」 Web 40名参加
- ④ 鑄鉄第4回 2024年 3月 8日 (金) 「方案・欠陥」 Web 40名参加

(9) 精密鑄造技術研修会

2023年 7月 13日 (木)、14日 (金) 機械振興会館 15名参加

(10) 軽合金鑄造技術研修会

2023年 11月 16日 (木)、17日 (金) 機械振興会館 17名参加

(11) 鑄造製造現場のQ&A集改訂編集委員会

- ① 2023年 6月 12日 (月) 機械振興会館 (ハイブリッド)
- ② 2023年 9月 28日 (木) 機械振興会館 (ハイブリッド)
- ③ 2023年 12月 15日 (金) 機械振興会館

1.1. 鑄造技士会活動に関する事項

鑄造カレッジを一定の成績で終了した受講生に対する協会認定制度「鑄造技士 (Foundry Expert)」は、2023年度で1,292名を認定するに至った。この鑄造技士の技術のさらなる向上とネットワークの維持強化を図るための組織として、鑄造カレッジの7つの開催地区ごとに鑄造技士会を設立している。2023年度の各地区鑄造技士会活動は下記のとおり。

【北陸技士会】

鑄造技術講座 2023年 11月 24日 (金) (日本鑄造工学会北陸支部との共催)
特別講演会 2024年 2月 16日 (金) (北陸支部との共催)

【東海鑄造技士会】

工場見学、意見交換会、交流会 2024年 2月 9日 (金)

【関西鑄造技士会】

講演会、交流会 2024年 3月 15日 (金)

1.2. 標準化に関する事項

- (1) 標準化委員会 (委員長 清水 一道)

JIS 及び ISO に関する審議を行った。

1) 全体会議

- ① 第1回 2023年 5月 8日(月)～19日(金)(メール委員会)
- ② 第2回 2023年 11月 28日(火) Web

2) 「JIS G 5502 球状黒鉛鋳鉄品」の改正原案(追補)を作成。2023年8月に日本規格協会に納品の上 JISC 審議対応を実施。3月に公示。

【分科会】

- ① 第4回 2023年 4月 10日(月) Web
- ② 臨時 2023年 6月 7日(水) Web
- ③ 臨時 2023年 12月 25日(火) Web
- ④ 臨時 2024年 1月 17日(水) Web
- ⑤ 臨時 2024年 1月 24日(水)～26日(金) 書面審議

【委員会】

- ⑥ 第2回 2023年 5月 8日(月)～19日(金)(メール委員会)

3) 「JIS G 5503 オーステンパ球状黒鉛鋳鉄品」について2022年度提出の改正原案の JISC 審議会対応を行った。

【分科会】

- ① 臨時 2023年 10月 2日(月) Web
- ② 臨時 2023年 10月 4日(月) Web
- ③ 臨時 2023年 12月 25日(火) Web
- ④ 臨時 2024年 1月 17日(水) Web
- ⑤ 臨時 2024年 1月 24日(水)～26日(金) 書面審議

4) 「新 JIS 耐摩耗鋳鉄品」原案作成(新 JIS 原案作成準備委員会)

原案掲載用の技術データ取得とその進捗の確認

- ① 第9回 2023年 10月 21日(金) 於 郡山市

5) 「JIS G 5903 鋳鉄製又は鋳鋼製のショット及びグリット」

改正原案を改正原案作成委員会にて作成し、2024年2月に日本規格協会に納品した。

【分科会】

- ① 第1回 2023年 7月 11日(金) 機械振興会館
- ② 第2回 2023年 9月 12日(火) Web
- ③ 第3回 2023年 11月 27日(月)(ハイブリッド)
- ④ 第4回 2024年 2月 27日(火)～29日(木) 書面審議

【委員会】

- ⑤ 第1回 2023年 10月 11日(水) Web
- ⑥ 第2回 2024年 1月 19日(金)(ハイブリッド)

6) 「JIS G 0417 鉄及び鋼—化学成分定量用試料の採取及び調整」の原案作成支援(注:原案作成団体は日本鉄鋼連盟)

鋳鉄品製造者への不利益が生じないよう鋳鉄関連部分の原案を作成。

- ① 第1回 2024年 2月 6日(水) Web
- ② 第2回 2024年 2月 20日(火) Web
- ③ 第3回 2024年 3月 11日(月) Web

(2) ISO/TC25 国内審議委員会(委員長 浅野 和典)

ISO/TC25 の規格改定等に関する審議を行った。

- ① ISO 1083:2018 (Ed2) の5年毎の改定確認投票
規格名 Spheroidal graphite cast irons — Classification

依頼日 2023 年 4 月 15 日、投票日 2023 年 6 月 1 日

対応 JIS 規格 … JIS G 5502:2022「球状黒鉛鋳鉄品」

委員会にてメール審議の結果、修正無で投票（投票結果も修正無）。

- ② WG16：ISO/DTR 10809-1（2023）（Cast irons—Part 1: Materials and properties for design）2023 年 2 月に発行。11 月 29 日の国際会議での PR 文書の公開をもって本 WG は活動休止が決定した。
- ③ 第 35 回 ISO / TC 25 鋳鉄&銑鉄の全体会議
国内審議委員会：2023 年 11 月 20 日（月） Web
国際会議（ロンドン）：2023 年 11 月 29 日（水） Web
日本より浅野委員長他が参加し、TC261/JG77 との Liaison 報告として、日本提案の AM 砂型（ISO59191）の原案作成状況を説明。来年の国際会議でも進捗を報告する。

国内審議委員会：2024 年 1 月 9 日（木）～1 月 22 日（金）（メール会議）

※このほか、他団体主催の TC25 に関連する以下 ISO 国内審議委員会へオブザーバー参加している。

- ・ ISO/TC213 国内審議委員会（主催：（一財）日本規格協会）
ISO/TC213 グループ A 国内委員会及び JIS 素案作成準備委員会
- ・ ISO/TC261 国内審議委員会（主催 TRAFAM）
- ・ ISO/TMB/SAG_Critical Minerals 国内委員会

1 3. 設備・原材料等に関する事項

- (1) ISO/TC306 国内審議委員会（委員長 平田 実）
ISO/TC306（鋳造機械規格）の国際規格制定等に関する審議を行った。
 - ① 2023 年 6 月 5 日（月）国内審議委員会 Web
 - ② 2023 年 9 月 28 日（木）国内審議委員会 Web
- (2) ISO/TC306 国際会議
 - ① 2023 年 11 月 2 日（木）～3 日（金）国際総会（ハイブリッド）
 - ② 2023 年 11 月 6 日（月）WG4 国際会議 Web

1 4. 国際交流に関する事項

- (1) 国際会議・海外セミナー等への参加
 - ① 海外協会との交流、会議
2023 年 5 月 10 日（水）AFA 国際会議 ビデオ録画参加
2023 年 11 月 22 日（水）～24 日（金）台湾鋳造工学会総会
日本より岡村部会長他参加
 - ② 世界精密鋳造会議（WCIC）、国際精密鋳造セミナー（ISIC）等精密鋳造関係
WCIC/ ISIC 実行委員会（委員長 高橋 元）
精密鋳造国際企画委員会（委員長 木塚 勝典）
2023 年 5 月 7 日（日）～10 日（水）第 30 回 EICF（欧州精密鋳造協会）
ブレゲンツ市（オーストリア）
WCIC2025 の PR 活動
2023 年 7 月 18 日（火）第 9 回 WCIC/ ISIC 実行委員会 機械振興会館
2023 年 8 月 12 日（土）～17 日（木）第 70 回 ICI（米国精密鋳造協会）
ピッツバーグ市（米国）
WCIC2025 の PR

- 2023年 9月 4日(月) 第7回精密鑄造国際委員会・
第10回 WCIC/ ISIC 実行委員会 機械振興会館
- 2023年 11月 13日(月) 第11回 WCIC/ ISIC 実行委員会
大同特殊鋼(株) 健保会館 会議室
- 2024年 3月 13日(水) 第8回精密鑄造国際委員会・
第12回 WCIC/ ISIC 実行委員会 機械振興会館

③ YPP (Young Professional Program) 委員会 (委員長 高橋 健太郎)

YPP 日本大会に向けた準備及び実施。

2023年 7月 13日(木) 草野産業(株) 会議室 ハイブリッド

2023年 10月 20日(金) Web

2023年 12月 20日(水) Web

2024年 3月 5日(火) Web

2024年 3月 17日(日)～21日(木) YPP 日本大会 (岡山・広島)

④ GIFA2023 及び欧州工場の視察団の派遣

2023年 6月 14日(水)～6月 23日(金)

GIFA2023 の視察 (デュセルドルフ、ドイツ)

工場見学ツアー (鑄鉄コース・ドイツおよび非鉄コース・スペイン)

⑤ 海外協会との交流

2023年 8月 22日(火) 中国鑄造協会 工場見学会

訪問先：(株)老子製作所、(株)能作

2023年 9月 5日(火)～9月 7日(木) 台湾鑄造学会 工場見学会

訪問先：アイシン高丘(株)、中央可鍛工業(株)、新東工業(株)、トヨタ自動車(株)、(株)カスタム

2023年 10月 24日(火) ベトナム鑄造協会来訪 機械振興会館

2023年 12月 12日(火) 中国鑄造協会 GAO 副会長来訪 機械振興会館

2023年 12月 13日(水)～14日(木) 中国鑄造協会 工場見学会

訪問先：アイシン高丘(株)、(株)木村鑄造所

15. 労働安全衛生に関する事項

鑄造業における安全衛生対策の推進のため、リスクアセスメントの普及活動として、4団体合同で研修会を開催した(詳細は、前掲「1.(6)安全衛生対策セミナー」を参照)。

16. 表彰に関する事項

(1) 協会賞の募集・選考・表彰

日本鑄造協会の協会賞として、2022年12月に協会功労賞、経営改善賞、技術賞、技術開発賞、小林英三賞、滝沢賞の募集を行い、3月に選考を行った。

2022(令和4)年度に決定した下記受賞者の表彰式を2023年5月の春季大会において行い、表彰状・記念品等を贈呈した。

【協会功労賞】

大亀 右問 氏 (元株式会社大亀製作所)

柳澤 忠幸 氏 (株式会社IJTT)

【技術開発賞】

田中 裕一 氏 (マツダ株式会社)

伊藤 正晴 氏 (日本ルツボ株式会社)

【技術賞】

長島 俊輔 氏（錦正工業株式会社）
間瀬 和行 氏（ASK ケミカルズジャパン株式会社）
三好 洋平 氏（島根県銑鉄鋳物工業組合）

【小林英三賞】

早川 勇 氏（富山県鋳物工業協同組合）
瀬戸 浩嗣 氏（全九州銑鉄鋳物工業組合）

17. 会員の叙勲・褒章の受章候補者の推薦ならびに申請

2023 年度に会員企業の叙勲（含叙位）候補者を経済産業省に推薦・申請し、授与された。

【旭日双光章】大亀 明人 氏

（元副会長、元株式会社大亀製作所 代表取締役）
令和 5 年（2023 年）秋

【正六位】 故 田中 保昭 氏

（元副会長、大和重工株式会社 代表取締役会長）
令和 6 年（2024 年）2 月（平成 29 年秋 旭日小綬章）

18. 広報、普及啓蒙及び情報資料の提供に関する事項

（1）機関誌編集委員会（委員長 紺野 敏之）・「鑄造ジャーナル」の発行

「鑄造ジャーナル」を企画・編集する機関誌編集委員会を開催し、毎月年 12 回発行した。また、各月の掲載内容が分かるよう協会ホームページに鑄造ジャーナルの目次を掲載した。

- ① 2023 年 4 月 10 日（月）機械振興会館
- ② 2023 年 5 月 10 日（水）機械振興会館
- ③ 2023 年 6 月 9 日（金）機械振興会館
- ④ 2023 年 7 月 5 日（水）三条市 燕三条地場センター
（4～5 日 中越地区 5 社工場視察）
- ⑤ 2023 年 8 月 9 日（水）機械振興会館
- ⑥ 2023 年 9 月 6 日（水）機械振興会館
- ⑦ 2023 年 10 月 10 日（火）機械振興会館
- ⑧ 2023 年 11 月 10 日（金）機械振興会館
- ⑨ 2023 年 12 月 8 日（金）機械振興会館
- ⑩ 2024 年 1 月 9 日（火）機械振興会館
- ⑪ 2024 年 2 月 9 日（金）機械振興会館
- ⑫ 2024 年 3 月 8 日（金）機械振興会館

（2）協会ホームページによる情報提供

協会ホームページの会員専用ページと E メールを活用し、各種情報の迅速な提供を行い情報発信の強化を行った。

（3）最近の鑄造業界動向の発行

本会の四半期調査、毎月調査及び鑄造に関連する公的統計から鑄造業界に関する動向をまとめた「最近の鑄造業界動向」を毎月計 12 回発行した。

（4）その他広報事業

- ① 新聞・雑誌等に業界 PR 記事の提供

報道機関に対する広報活動として、日本経済新聞、日刊工業新聞、鉄鋼新聞他の専門紙の担当記者へのプレスリリースを行い、資料の提供等取材に協力した。

- ② 需要業界における各種調査研究資料の収集と提供を行った。
- ③ 経済産業省等関係官庁からの公報・情報収集活動と会員への提供を行った。
- ④ その他、業界発展のための広報・情報活動を行った。

(5) 普及啓蒙事業

- ① 経営、技術及び海外情報に関する相談業務
- ② 新技術開発・新製品開発に関する紹介

(6) その他情報の提供

- ① 法律、制度、経営、技術及び労働に関する情報の提供
- ② 会員（賛助会員を含む）に関する情報の提供
- ③ 内外の関係情報の提供

19. 会員の催物に対する協力及び協賛に関する事項

- (1) 経営、技術、労務関係、教育図書、視聴覚教育資料等の斡旋
- (2) 工場視察及び見学会の斡旋
- (3) 記念行事、催物における表彰状若しくは感謝状の授与
- (4) 会員主催の行事、催物等への協賛及び参加

20. その他本協会の目的を達成するために必要な事項

以上の他、定款の目的に沿った各種事業を行った。

VII. 支部・地域活動、地方組織に関する事項

1. 東海支部（支部長 下田 正生）

- (1) 総会 2023年 4月 13日（木）ウイंकあいち+Web 配信
講演会（総会に合わせて開催）

- ① 老舗鋳物メーカーの生き残りをかけた挑戦
～おもいのフライパン誕生秘話

講師 石川鋳造(株) 代表取締役社長 石川 鋼逸

- ② カーボンニュートラル実現のための製造業
GX IoT で労務費と CO₂を同時に削減

講師 i Smart Technologists, Executive Manager 都築 敏

※他日本鋳造工学会東海支部と協賛で開催

- (2) 工場見学会

- ① 【地区内・愛知県内】

日時 2023年 7月 18日（火）

工場見学先 石川鋳造(株)（愛知県碧南市）

JFE スチール(株) 知多工場（愛知県半田市）

参加者数 29名

- ② 【地区外・北陸地区】

日時 2023年 11月 15日（水）～16日（木）

工場見学先 北陸アルミ(株)（富山県富山市）

鋳物工房利三郎（富山県高岡市）

(株)老子製作所（富山県高岡市）

参加者数 14名

(3) 講習会（鑄造工学会事業に協賛）

- ①鑄鉄の基礎講座、②鑄鉄の中級講座、③アルミニウム鑄造講座Ⅰ、④アルミニウム鑄造講座Ⅱ、⑤アルミニウム鑄造講座Ⅲ、⑥鑄造技術講習会、⑦鑄物技術講演会

(4) 役員会、本部報告会

- ① 前期 日時 2023年 4月 13日（木）
会場 ウィンクあいち（ハイブリッド）
② 後期 日時 2024年 2月 16日（金）
会場 ウィンクあいち

2. 北陸支部（支部長 金森 敬）

(1) 総会 2023年 4月 14日（金）高岡市生涯学習センター

講演会「より強い経営を目指して」（40年のものづくり人生からの提言）

講師（一社）日本鑄造協会 顧問 中谷 兼武

(2) 講演会・技術講習会

① 技術講習会

※2024年度全国講演富山大会準備期間のため中止

② 鑄造初級講座（鑄造工学会北陸支部と共催）

日時 2023年 7月 31日（月）、8月 1日（火）

会場 座学 ポリテクセンター富山

工場見学（株）協和製作所

③ 現場改善事例発表会（鑄造工学会北陸支部と共催）

日時 2023年 9月 15日（金）

会場 Web 開催

④ 鑄造技術講座（鑄造工学会北陸支部、北陸鑄造技士会と共催）

日時 2023年 11月 24日（金）

会場 ポリテクセンター富山

⑤ 特別講演会（北陸鑄造技士会と共催）

日時 2024年 2月 16日（金）

会場 高岡市生涯学習センター

(3) 工場見学会

※新型コロナウイルス感染予防のため中止

(4) 役員会、本部報告会

① 前期 日時 2023年 4月 14日（金）

会場 高岡市生涯学習センター

② 後期 日時 2024年 2月 20日（火）

会場 金沢市「寿司若」

3. 中国四国支部（支部長 藤原 慎二）

(1) 総会 2023年 4月 6日（木）TKP ガーデンシティ広島駅前大橋 65名参加

講演会「価格転嫁・取引適正化対策～最近の動きと今後の方針」

講師 中小企業庁 事業環境取引課 課長 鮫島 大幸

(2) 秋季講演会

2023年 11月 28日（火）岡山市ピュアリティまきび 参加者数 73名

講演会 ①「素形材産業の概況について～取引適正化、人材育成への対応等

講師 経済産業省 製造産業局 素形材産業室長 星野 昌志

②「ラドン温泉の効用〈放射線の人体影響〉」

講師 岡山大学学術研究院 保険学息准教授 片岡 隆裕

(3) 理事会

第1回 2023年 4月 6日(木) TKP ガーデンシティ広島駅前大橋

第2回 2023年 8月 3日(木) 広島県鋳物工業協同組合 会議室

第3回 2023年 11月 28日(火) 岡山市ピュアリティまきび

第4回 2024年 2月 14日(水) 広島県鋳物工業協同組合 会議室

(4) 教育事業

・鋳造カレッジ中国四国地区開催

講義：2023年 7月 14日(金)～12月 9日(土) 11日間、30コマ

インターンシップ：2024年 1月 22日(月)～26日(金) 5日間

講義は対面 15コマを広島市工業技術センター・広島県鋳物工業協同組合にて実施。Web 講義 15を関東地区・東海地区と合同で実施。

インターンシップは、ヨシワ工業(株)本社工場にて4日間、広島県工業技術センターにて1日実施。

受講者 26名(鋳鉄コース 24名、鋳鋼コース 2名)

VIII. 関係官庁等への協力に関する事項

1. 適正取引推進のための各種委員会への委員推薦・出席

(1) 素形材産業取引適正化委員会(丹羽副会長が委員)

・2023年 8月 31日、10月 30日 オンラインにて開催

(2) 素形材産業における物流の適正化・生産性向上に向けた自主行動計画策定検討委員会(武山副会長が委員)

・2023年 8月 4日、10月 30日 オンラインにて開催

2. 中央能力開発協会への技能検定委員推薦、技能検定の型の斡旋

(1) 中央技能検定委員の推薦

「鋳造(鋳鉄鋳物鋳造作業)」「鋳造(鋳鋼鋳物鋳造作業)」「金属溶解(鋳鉄溶解作業)」「基礎級 鋳造(非鉄金属鋳物鋳造作業)」「鋳造(非鉄金属鋳物鋳造作業)」及び「金属溶解(軽合金溶解炉溶解作業)」について委員を推薦した。

(2) 型の斡旋

技能検定実技試験模型(鋳造1級、鋳造2級(含随時)、鋳造3級(含随時))の作製を斡旋した(16件 計29型)。

3. 「中小企業経営強化法」関連の証明書発行

中小企業等経営強化法の設備に係る仕様等証明書を発行した(63件)。

IX. 関係団体との交流に関する事項

1. 素形材関連団体連絡会

素形材に関する交流促進や普及啓発を議論し実施する場として、(一財)素形材センターが主催する素形材団体交流委員会に鈴木専務理事が委員として出席した。

2. 素形材産業優良従業員表彰委員会

(一財)素形材センターが主催する素形材産業優良従業員表彰委員会に、鈴木専務理事が委員として出席した。

3. 鋳物関連団体への協力

- (1) (公社) 日本鋳造工学会の講演大会、各支部におけるセミナー、工場見学会を後援
- (2) (一財) 素形材センターの素形材月間事業 (11 月) への後援
- (3) 島根県鋳造関連産業振興協議会総会 (8 月 31 日・松江市) に藤原会長及び鈴木専務理事が出席し、本会の活動概要等を報告した。

X. 会員及び組織に関する事項

1. 組織拡充強化に関する事項

- (1) 未加入の企業、組合員の正会員への加入を促進した (6 社加入)。
- (2) 本協会の目的・事業に協力いただく賛助会員の加入を促進した (1 社加入)。

2. 会員及び組織に関する事項

- (1) 正会員及び賛助会員 (2024 年 3 月 31 日現在)
 - ① 法人正会員 337 社
 - ② 団体正会員 32 組合 (448 社)
 - ③ 賛助会員 50 社
- (2) 理事・監事・協会役員・顧問・参与名簿 (別紙 1 参照)
- (3) 協会事業運営組織図 (別紙 2 参照)
- (4) 部会委員・支部長名簿 (別紙 3 参照)
- (5) 協会事務局組織図 (別紙 4 参照)
- (6) 協会活動状況一覧表 (別紙 5 参照)